

## ～今後の管理のポイント～

- 収量・品質向上のために追肥を行いましょう。
- 雑草の発生状況を確認し、茎葉処理剤の散布を行いましょう。
- 排水対策を徹底しましよう。

## 1 気象経過

- ・2月の第1半旬から第5半旬にかけて、低温・寡照の期間が長く続きました。2月第6半旬以降は、平年並から平年を上回る気温や日照時間となりました。
- ・2月第5半旬は合計24cmの降雪となりました。また、3月第4半旬は平年を大きく上回る合計44mmの降水量を記録しました。

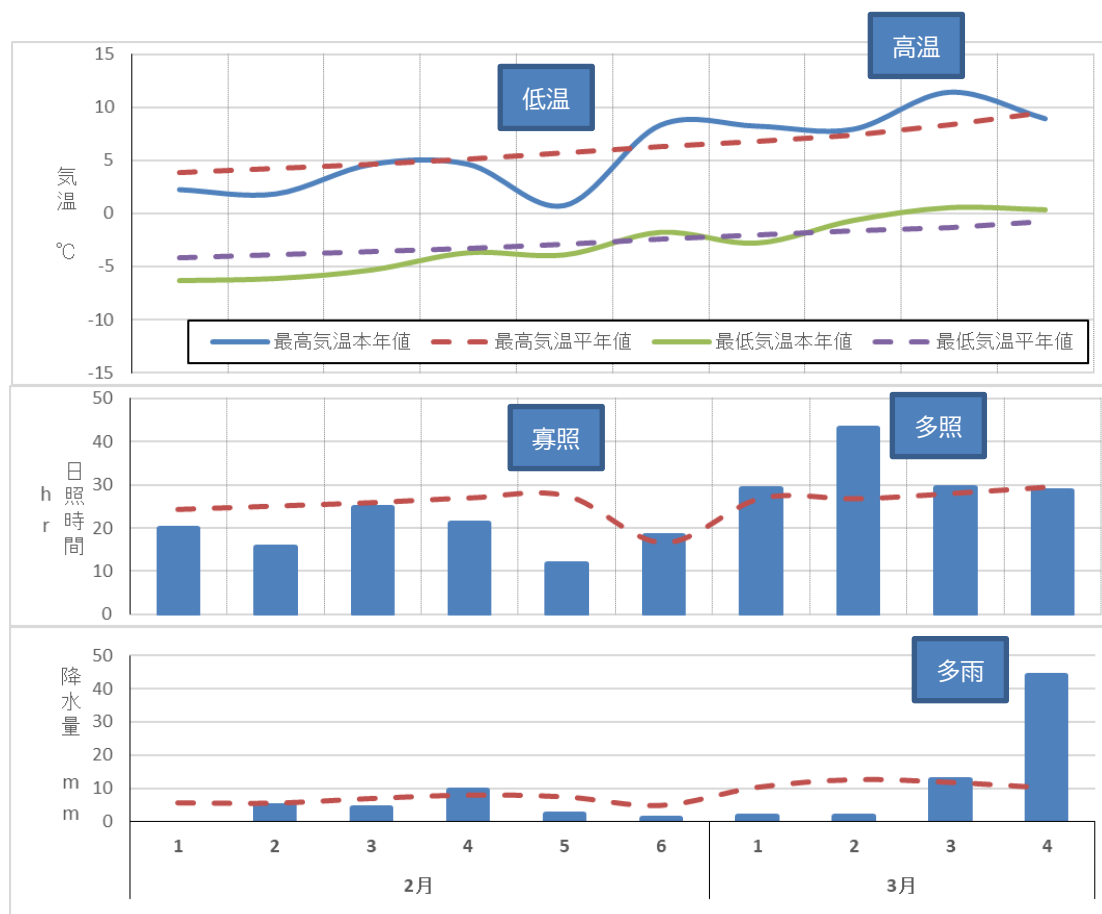


図1 気象経過 (アメダス古川)  
 ※実線又は棒グラフが本年値, 点線は平年値。

## 2 生育状況(3月18日現在)

- ・草丈は8.9cmと平年より短い結果となりましたが、茎数は803本/㎡となり平年並まで回復しました。
- ・幼穂長は0.9mm(平年差+0.06mm)と、平年より生育がわずかに進んでいます。
- ・前回の3月1日調査では確認されなかった鳥による食害が散見されました。

表1 生育調査ほの生育調査結果

地区名 品種名	播種日			草丈 (cm)			茎数 (本/㎡)			幼穂長 (mm)		
	本年	前年差	平年差	本年	前年比	平年比	本年	前年比	平年比	本年	前年差	平年差
古川 シラネコムギ	10/30	14	7	8.9	92%	81%	803	125%	103%	0.9	-0.18	0.06

※平年差(比)は、過去5か年(平成29年~令和3年産)の平均値との比較。

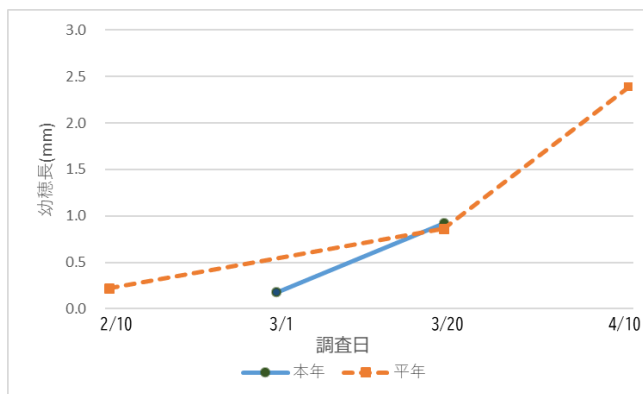


図2 生育調査ほにおける幼穂長の推移



写真1 鳥による食害



写真2 シラネコムギの生育状況(左: 3月1日調査, 右: 3月18日調査)

### 3 今後の生育ステージの見通し

- ・今後の生育ステージは、減数分裂期が平年より3日、出穂期が平年より2日早くなると予測されます（表2）。
- ・仙台管区气象台による向こう1か月の天候は、天気は数日の周期で変わり、平年と同様に晴れの日が多い予報です。追肥の適期を逃がさないよう、今後の生育状況に注意しましょう。

表2 幼穂長による生育ステージ予測

地区名 品種名	播種日			減数分裂期			出穂期		
	本年	前年差	平年差	本年予測	前年差	平年差	本年予測	前年差	平年差
古川 シラネコムギ	10/30	14	7	4/28	-1	-3	5/8	0	-2

- ※1 平年差は、過去5か年（平成29年～令和3年産）の平均値との比較。
- ※2 普及に移す技術第91号（麦類の生育ステージ予測シート）をもとに予測。
- ※3 栽培管理上の目安であり、実際の生育ステージは今後の気象条件によって変動あり。

### 4 今後の管理

#### (1) 追肥

収量・品質向上のためには追肥が必要となります。実際に麦の幼穂長を測定し、適期の追肥を心がけましょう。

表3 追肥時期と施肥量の目安（シラネコムギ）

追肥の時期	幼穂形成期 (幼穂長2～3mm)	減数分裂期 (幼穂長30～50mm)	穂揃期 (8～9割出穂)
目的	有効茎歩合増加 (穂数の確保)	一穂粒数の増加 登熟良化	子実タンパク質含有率 の向上
追肥時期	3月下旬～4月中旬	4月下旬～5月上旬	5月中旬
N成分量 (kg/10a)	2.5	2.5～5	2.5
硫安の場合 (kg/10a)	12	12～24	12
尿素の場合 (kg/10a)	5.4	5.4～11	5.4

※上表は目安です。生育量に応じて施肥量を調節しましょう。

#### 【幼穂長の測定方法】

- 1) 生育中庸な株の長い茎を3本以上採取する。
- 2) 茎の膨らんでいる部分を手で剥く、またはカッターで縦方向に切り裂く。  
※勢いよくやると幼穂がちぎれてしまうので慎重に。
- 3) 茎の中心部分にある幼穂の長さを計測する。  
※芒は幼穂長に含めない。

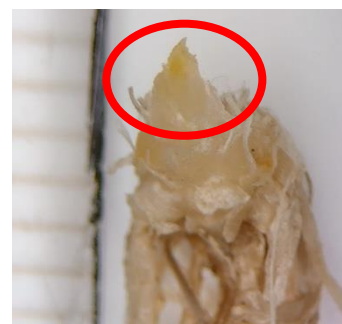


写真3 幼穂（3月18日）

## (2) 雑草防除(茎葉処理剤)

雑草は光合成の競合，病害虫の誘発，種子混入等により品質・収量に影響します。雑草の発生状況と麦の生育状況を見て，早めの散布を心がけましょう。

表4 茎葉処理剤一覧(小麦)

除草剤名	対象	使用時期	希釈倍数使用量 (散布液量)	本剤 使用回数
ハーモニー 75DF水和剤	スズメノテッポウ	播種後～節間伸長前	5～10g/10a (100L)	1回
	一年生広葉雑草	播種後～節間伸長前	5～10g/10a (100L)	
	一年生広葉雑草	節間伸長開始期～穂ばらみ期 (ただし収穫45日前まで)	3～10g/10a (50～100L)	
アクチノール 乳剤	一年生広葉雑草	穂ばらみ期まで(雑草生育初期)	100～200mL/10a (70～100L)	2回以内
バサグラン 液剤	一年生雑草(イネ科を除く)	麦類の生育期(雑草3～6葉期) (ただし収穫45日前まで)	100～200mL/10a (70～100L)	1回
MCP ソーダ塩	一年生及び多年生広葉雑草	幼穂形成期 (ただし収穫45日前まで)	200～300g/10a (70～100L)	1回

※農薬の登録情報(令和4年3月17日現在)

## (3) 排水対策

麦は湿害に弱い作物です。節間伸長期の湿害は，弱小分げつの枯死や穂数の減少に繋がります。ほ場に水を停滞させないように排水対策を徹底しましょう。

- ・明きよ…手直し，管理機等で溝を作り，排水口まで繋げましょう。  
前作水稲ほ場では，稲わら等が排水口に詰まっていないか確認しましょう。
- ・暗きよ…栓が閉じられていないか再確認しましょう。

### 東北地方 1 か月予報

(3月19日から4月18日までの天候見通し)

令和4年3月17日

仙台管区气象台 発表※抜粋

#### <予想される向こう1か月の天候>

期間の前半は気温の変動が大きい見込みです。東北太平洋側では，天気は数日の周期で変わり，平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

#### <向こう1か月の気温，降水量，日照時間の各階級の確率(%)>

		低い(少ない)	平年並	高い(多い)
【気温】	東北地方	20	40	40
【降水量】	東北地方	30	30	40
【日照時間】	東北地方	40	30	30

#### <気温経過の各階級の確率(%)>

		低い	平年並	高い
1 週 目	東北地方	50	40	10
2 週 目	東北地方	20	30	50
3～4 週 目	東北地方	20	40	40